

J T U 発第 0 1 3 2 8 号

2 0 0 2 年 (平成 1 4 年) 1 月 3 1 日

強化指定選手 各位

(社) 日本トライアスロン連合

理事長 荒井 憲二

強化本部長 山田 保

トレーニング中の事故防止について

新たな年を迎え関係各位においては、個々の目標に向かい日々トレーニングに励んでおられることと思います。

さて、既にご存知の方もおられるかと思いますが去る 1 月 1 2 日オーストラリアのルーク・ハロップ選手 (ロレッタ・ハロップ選手の弟) がゴールドコーストでの早朝練習中に盗難車を運転する女性ドライバーに撥ねられ死亡するという悲しい出来事がありました。

ゴールドコーストは日本からすれば理想的なトライアスロンのトレーニング環境が整った街です。そこにおいて無法運転による重大事故が発生し、前途有望なトライアスリートが犠牲となったことは何とも言いようがなく残念でなりません。

日本においてもトライアスリートに限らず、公道でのトレーニングを行っているアスリートが関係する事故は数多く発生しております。ここに、改めて選手自身の自己管理を強く要請するとともに、コーチはじめチーム関係者の皆様に対しましてもさらなる細心の注意をお願いいたします。

シーズンに向けてトレーニングに取り組んでいる選手諸君、関係各位の今シーズンのご活躍を期待するとともに、ここにルーク・ハロップ選手のご冥福をお祈りいたします。